

報道機関 各位

**硫黄島からの手紙 ―松江市本庄町出身の戦没者・遺族の思い―【9/20】**

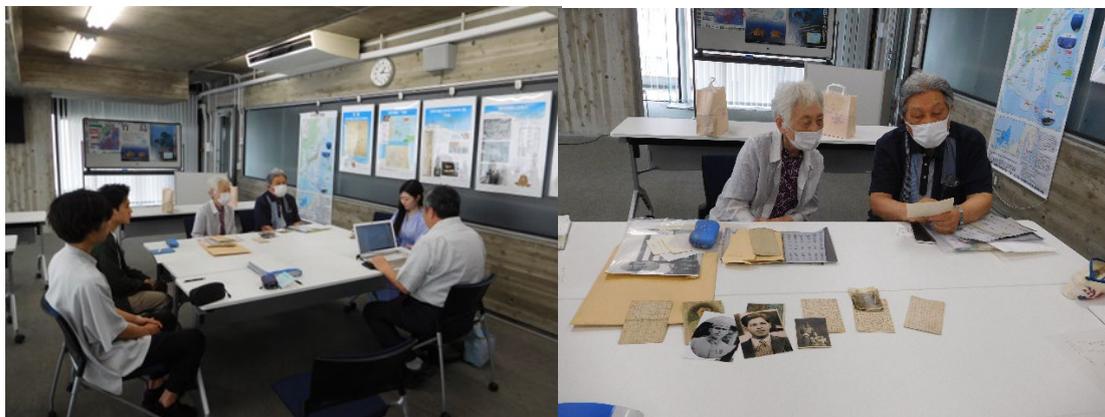
島根大学法文学部社会文化学科学生によるフィールドワーク(地誌学Ⅱ)成果発表会(第5回)

◆本件のポイント！

- ・松江市内で初めて発見された硫黄島からの手紙を学生が解読。
- ・硫黄島からの手紙は全国的にあまり残っていない。
- ・手紙は7通で、硫黄島に着いた1944年7月頃から、病死する前の1944年12月頃まで。
- ・手紙には、家族を案じる内容のほか、食料不足により、故郷の干魚、干イモ、生粟、芋の粉、麦の粉、ミカン、夏ミカン、柿など食料の送付を依頼したこと、劣悪な衛生環境により、病気となってしまったことなどが記されている。手紙の筆者は、硫黄島の戦いを前にした、1945年1月16日、栄養失調のため、戦病死した。
- ・手紙を通じて、戦没者と遺族の思いを踏まえ、平和について考える。

◆本件の概要

法文学部社会文化学科学生による硫黄島の戦いについてのフィールドワーク成果発表会(第5回)を、松江市の本庄公民館で開催する。フィールドワークでは松江市内で初めて「硫黄島からの手紙」を発見し、学生が中心となり、解読、研究した。手紙の分析結果を通じて、激戦の地硫黄島での戦没者と遺族の思いを分析し、平和について考える。



◆概要内容

【日 時】令和7年9月20日(土) 13:30~15:00  
【場 所】本庄公民館(島根県松江市本庄町463-3)  
【対 象】本庄地区の住民のみ。一般の方の募集は行いません。

- ◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください  
島根大学 法文学部 社会文化学科 地理学研究室  
船杉 力修(ふなすぎ りきのぶ) 教授(歴史地理学)  
電 話:0852-32-6181  
メー ル:funasugi[at]soc.shimane-u.ac.jp

◇その他

これまで学生とともに、島根県内の硫黄島戦没者の供養塔及び硫黄島からの手紙の分析、ご遺族からの聞き取り調査を実施し、その研究成果を本学及び松江市、大田市、隠岐の島町で発表を行ったところ、テレビのニュース、新聞等で大きく報道された。

【添付資料: あり( 1 枚)    なし】※チラシ

島根大学法文学部社会文化学科学生による

## フィールドワーク（地誌学Ⅱ）

### 成果発表会（第5回）

「硫黄島からの手紙

—松江市本庄町出身の戦没者・遺族の思い—」



2025年9月20日(土)13時半～15時

会場:本庄公民館(松江市本庄町463-3)

主催:島根大学法文学部地理学研究室

島根大学法文学部山陰研究センター

【今回は本庄地区の方のみ対象。一般の方の募集は行いません。】

お問い合わせ先:島根大学法文学部地理学研究室

船杉 力修(ふなすぎ りきのぶ)

[funasugi@soc.shimane-u.ac.jp](mailto:funasugi@soc.shimane-u.ac.jp)